

先日は、4月のてがたんにご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回のてがたんは、5月11日(土)で、「我孫子の自然の『音風景』」がテーマです。ぜひご参加ください。

* 市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見は、5月5日(日・祝)の9:30からです。

4月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→博物館駐車場→手賀沼遊歩道→けやき広場→藤棚→旧水生植物園→親水広場でまとめ&解散
- 観察日時と天気：2019年4月13日(土) 10:00～12:00 晴れ
- 参加人数：46人(大人31人、子ども15人)
- 市民スタッフ：6人(弘實さと子、石原直子、伊東茂子、木村稔、小泉伸夫、湯瀬一栄)
- 鳥博職員：1人(岩本二郎)

観察した生き物の記録(下見を含む)

【鳥類】キジ科：キジ／カモ科：コブハクチョウ、カルガモ、コガモ／カイツブリ科：カイツブリ／ハト科：キジバト／ウ科：カワウ／サギ科：アオサギ、ダイサギ／クイナ科：クイナ、バン、オオバン／チドリ科：コチドリ／シギ科：タシギ*／カモメ科：セグロカモメ／タカ科：トビ／カワセミ科：カワセミ*／モズ科：モズ／カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス／シジュウカラ科：シジュウカラ／ツバメ科：ツバメ／ヒヨドリ科：ヒヨドリ／ウグイス科：ウグイス／ムクドリ科：ムクドリ／ヒタキ科：ツグミ／スズメ科：スズメ／セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ／アトリ科：カワラヒワ*／ホオジロ科：ホオジロ、オオジュリン／家禽および外来種：ドバト

【昆虫】チョウ目：キアゲハ*、ナガサキアゲハ*、モンシロチョウ、ツマキチョウ、モンキチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ／バッタ目：ノミバッタ*、ヒシバッタ*、ハネナガヒシバッタ*、キンヒバリ*／カメムシ目：ヨコヅナサシガメ／コウチュウ目：ニワハンミョウ*、ナナホシテントウ、コガタルリハムシ／ハチ目：クマバチ、コマルハナバチ／ハエ目：ヒラタアブの仲間、ハナアブの仲間

【クモ】コガネグモ科：ゴミグモ、コガネグモ科の一種／カニグモ科：カニグモ科の一種

【魚類】コイ科／コイ*

【植物】タデ科：ギシギシ／ナデシコ科：ノミノツヅリ、オランダミミナグサ、ツメクサ、コハコベ／キンポウゲ科：タガラシ／アブラナ科：ナズナ、タネツケバナ、ミチタネツケバナ、コイヌガラシ、イヌガラシ／バラ科：ヘビイチゴ／マメ科：カラスノエンドウ／カタバミ科：カタバミ、アカカタバミ、オッタチカタバミ／アカネ科：ヤエムグラ／ムラサキ科：キュウリグサ／シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ／ハエドクソウ科：ムラサキサギゴケ、トキワハゼ／オオバコ科：タチイヌノフグリ、オオイヌノフグリ／キク科：ハルジオン、ハハコグサ、オオジシバリ、オニタビラコ、オニノゲシ、ノゲシ、セイヨウタンポポ／イグサ科：スズメノヤリ、／イネ科：スズメノテッポウ、チガヤ、スズメノカタビラ

【植物(花)】モクレン科：コブシ／カツラ科：カツラ／バラ科：ヤマブキ、ユキヤナギ、サクラ(ソメイヨシノ、オオシマザクラ、サトザクラ)／マメ科：ハナズオウ／ムクロジ科：イロハカエデ／キク科：ノボロギク、

(注) *印は4月7日の下見の時にのみ確認した種

4月に観察した生き物の記録

今回のてがたんのテーマは「鳥のプロポーズ」で、求愛を始めとする、鳥たちの繁殖行動について紹介しました。シジュウカラがヒナに餌を運ぶ様子を観察することができた他、モズのオスメスの違いに注目して観察してみたところ、確認できたのはオスばかりで、メスは巣の中で卵を温め続けていると考えられました。



岩本学芸員



弘實さと子さん

今月の案内人



① 開花後、若葉が芽吹くとガの幼虫が発生します



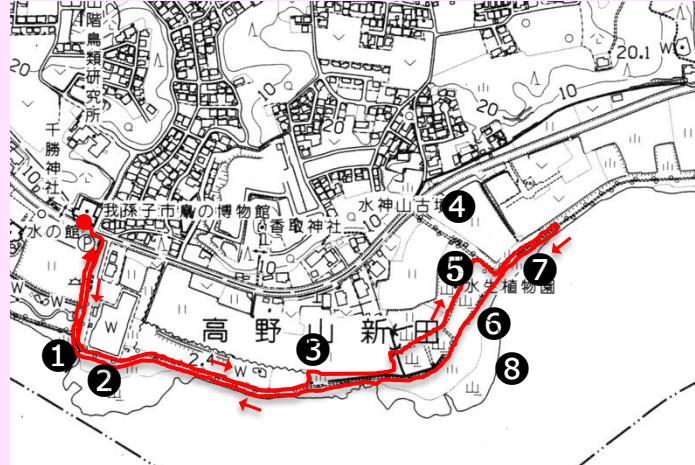
② ヒナに餌を運ぶシジュウカラ



③ メスのモズがわずかに姿を見せました



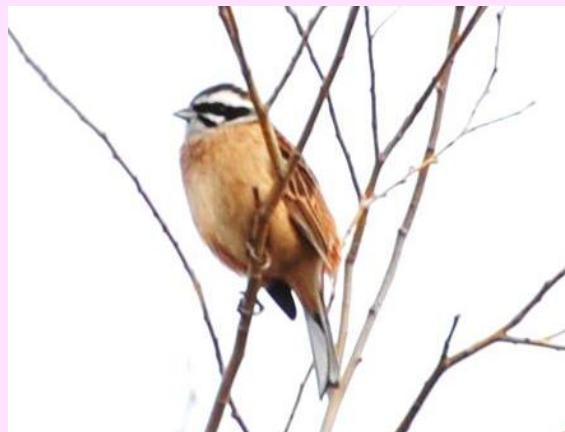
④ キジのオス



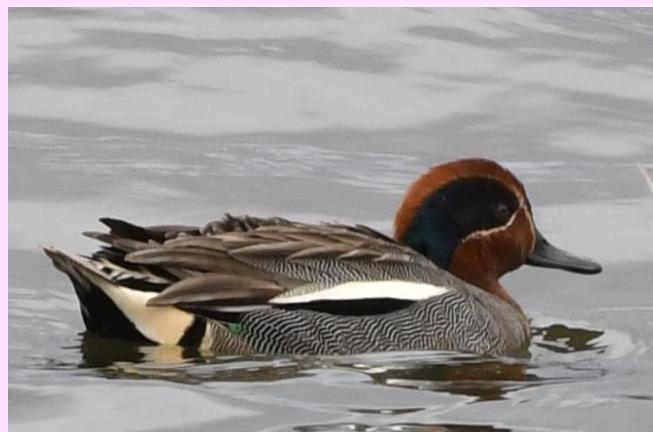
歩いたルートと観察した生き物



⑤ モンシロチョウ（下）とツマキチョウ（上）



⑥ さえずるホオジロのオス



⑦ 北へ帰るのが最も遅いカモは、コガモです

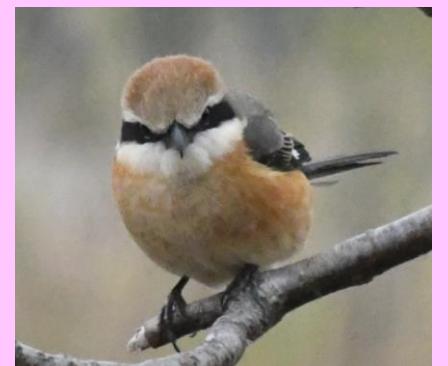


⑧ アオサギの飛び立つ瞬間も見られました

今月の鳥 モズ

スズメ目モズ科

郊外にある林、川原や農耕地・公園・広い庭など、木のある見通しのよい場所に生息します。なわばりが形成され始める秋には、なわばりをアピールする「高鳴き」がよく聞かれます。獲物を木の枝や鉄条網などの突起に突き刺す「はやにえ」も有名です。実験を行い、鉄条網に人工的にエサを刺してみたところ、短時間でモズに食べられたという報告があります。産卵期は3月下旬～8月上旬までで、枯枝や枯れ草、蔓などを編んだ巣をつくり、地上から6mくらいまでの高さの枝上や灌木の茂みの中に営巣します。卵の数は主に4～6個で、ヒナは抱卵後14～15日で孵化します。モズ科はスズメ目に含まれ、日本の鳥では、カササギヒタキ科（サンコウチョウが含まれています）やカラス科と近縁にあたります。世界で31種が知られています。



オスは、目の周りの黒い線がはっきりしており、お腹の縞がなく、翼に白い斑があります。

てがたんにご参加ありがとうございました。次回もお待ちしております。